

諏訪湖クラブニュース

NO. 35 2023年4月

もくじ

- 巻頭 あいさつ 沖野外輝夫
- 諏訪湖クラブ令和4年度活動記録
- 宮崎ますみと探る「諏訪湖のみらい」
- 静岡大学附属浜松中学校生徒の「しなの体験学習」
- 諏訪湖クラブと私、思い出話でタイムスリップ
- 理事会議事録



諏訪市大熊城址の福寿草 R5.3.10 撮影

令和5年度のご挨拶

会長 沖野外輝夫

令和5年の正月もあっという間に過ぎ、期待していた御神渡りも残念ながら見られず「明けの海」が八劔神社の宮坂清宮司により宣言されました。年々地球温暖化による気象異常が報告されていることを考えれば、御神渡り出現は無理な願いなのかもしれません。身から出た錆とは言え、残念なことです。

昨年は「諏訪湖創生ビジョン」の計画見直しの年で、何かと気ぜわしい一年でした。最初の5年間は公民協同作業とは言え、何をどうやって行くのか手探り状態での取り組みでした。見直しでも真の意味での公民協働の取り組みを実践的に模索してきましたがこれからは本番となります。諏訪地域振興局の担当者もようやく慣れてきた昨年でしたが、令和5年度は新たな担当者との協働作業となります。何時ものこととはいえしんどいことではありますが負けずに頑張っって前に進めましょう。幸いに、新任の方々の中には、以前諏訪地域振興局に勤務経験のある方々も居られると聞いています。昨年を見直しの効果を上げ、諏訪湖創生ビジョンの推進を効果的に進めていく大切な一年を実のある年にしていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。



シュウメイギク



かわいらしいシュウメイギクの綿毛

諏訪湖クラブ令和4年度活動記録（令和4年4月～令和5年3月）

活動記録

- ◆6月5日（日） 諏訪市すわチャオ会議室
諏訪湖クラブ定期総会の開催
当日出席 17名（委任状36名） 懇親会「雫石」
- ◆6月5日（日） 諏訪湖、天竜川水系等
全国一斉水質調査に参加（諏訪湖・天竜川水系等）
- ◆6月9日（木） 10時～ すわっチャオ和室
静岡大学付属浜松中学「しなの体験学習」に協力（生徒8名のインタビューに対応）
- ◆6月25日（土） 諏訪湖、諏訪地域
諏訪湖トライアスロン753名の参加 スイム2km、自転車78k、ラン20km 計100km
ボランティア活動 諏訪湖クラブ担当 高島城城内
- ◆9月1日（木）～10月31日（月）
「諏訪湖の日のプロジェクト」企画、開催
- ◆10月1日（土）13時30分～ You Tube ライブ配信
「下水道の市民科学」活動に協力。
「うんち君の旅」を作成、四賀小学校出前授業、LCVで放映、ビデオ作製

諏訪湖関係の長野県水環境関係の見直し事業に協力

- 1) 第五次長野県環境基本計画
- 2) 第7次長野県水循環保全総合計画の見直し
- 3) 長野県における湖沼環境類型指定
- 4) 第8期諏訪湖水質保全計画
- 5) 諏訪湖創生ビジョンの見直し

諏訪湖創生ビジョン推進会議事務局活動に協力

- 5月27日（金）第8回推進会議
- 7月26日（火）諏訪湖創生ビジョン改定ワーキンググループ立ち上げ
- 9月6日（火）第2回改定ワーキンググループ
- 10月31日（月）第3回改訂ワーキンググループ
- 11月28日（月）地域懇談会 諏訪合同庁舎講堂
阿部知事オンラインで参加
- 1月25日（水）第4回改訂ワーキンググループ
- 2月6日（月）第2回地域懇談会 伊那合同庁舎
天竜川流域の環境保護団体他

理事会の開催 4/17、5/22、6/5、7/17、8/21、9/8、9/19、10/16、11/20、12/18
令和5年1/15、2/19、3/19

諏訪湖クラブニュースの発行

- 32号より八幡義雄会員の編集により新装発行
- 32号 令和4年9月発行 33号12月発行 34号令和5年1月発行

宮崎ますみと探る「諏訪湖のミライ」

信州大学諏訪臨湖実験所 宮原 裕一

本年1月3日にSBCで放送された「宮崎ますみと探る諏訪湖のミライ」に出演させていただきました。

放映日；令和5年1月3日 午前8時～8時55分（SBC信越放送）（LCVでも放映）

番組タイトル；「宮崎ますみと探る諏訪湖のミライ」～水中ドローンで迫る生態系～

このうち、水中ドローンでの観察は2022年7月29日に諏訪湖で行われたものです。水中ドローンによる撮影は、池の平ホテルの専門スタッフによるものです。下諏訪町の高浜沖では魚やエビなど大型の生物を対象に岸近くで観察を行いました。ヒシが繁茂する中の隙間に水中ドローンを潜り込ませての観察となりました。結果的には魚やエビは観察されませんでした。ヒシの下にクロモが生えていることが確認できました。水面をヒシの浮葉が覆っていたので、水中は暗いはずですがクロモが生えていたことが意外でした。

これとは別に、2022年は卒業研究の一環として木崎湖で学生と水草の分布を調査しましたが、木崎湖ではコカナダモやクロモが他の水草と比べ水深の深いところまで生えていることが確認されました。近年、諏訪湖でクロモの分布域が広がったのは、クロモが比較的弱い光のところ（幅広い水深）でも生活できることが一因と考えられます。

また、湖心では水中ドローンによって初めて湖底の様子を見ることができました。何度か潜航を繰り返し、泥の巻き上げを避け、ようやく泥の表面に細かな模様があることや、小さな穴が開いていることを見ることができました。諏訪湖から採取した泥をバケツに入れて置くと、ユスリカ幼虫がつくる小さな穴は観察できるのですが、細かな模様は初めてのものでした。微生物の繁殖によるものと思われそうですが、まだまだ知らないことが諏訪湖には沢山あることを実感しました。



クロモ

放送には使われませんでした。その後、豊田沖の水草帯や舟渡川河口でメタンガスが湧いているところでも水中ドローンで観察を行いました。メタンガスはすり鉢状の窪地から湧いているものとばかり思っていました。割れ目のようなところからガスが出ており、「百聞は一見に如かず」を実感した一日となりました。

宮崎ますみさんとの撮影は10月6日に行われました。雨が降りそうだということで、午前中に繰り上げての撮影となりました。風が強く、気温も低いなかでの撮影でしたが、女優魂を見せてもらいました。直前までダウンジャケットを羽織っていましたが、撮影時は薄着になり寒さを感じさせずいくつものシーンに出演されていました。収録の間、宮崎さんとは「市民が諏訪湖のためにできることは？」といったお話もさせていただきました。対話の収録もあったのですが、残念ながら放送された番組ではカットされていました。

この番組には、諏訪臨湖実験所の笠原先生も出演され、カワウの食性についての研究を紹介していました。また、エビの養殖に関し、過去に行った諏訪湖流入河川の水質調査（下記参照）も紹介していただくなど、諏訪臨湖実験所の取り組みを幅広く取り上げていただいた番組となりました。

https://www.shinshu-u.ac.jp/group/env-sci/Vol30/Paper2008/3003_Miyabara.pdf



諏訪湖のカワウ（下諏訪町湖岸）



高浜沖のヒシ帯 このヒシの下にクロモが生えている 2022年8月2日撮影



諏訪湖のヒシとクロモ 2022年8月2日撮影

信州大学諏訪臨湖実験所では、研究を通じ、諏訪湖の生態系の成り立ちや、様々な事象のしくみを明らかにし、また、陸水学に興味を持つ若者を育てることで、諏訪湖のミライに貢献したいと考えています。今後も、ご支援よろしくお祈いします。

今年度、諏訪臨湖実験所で予定している活動は以下の通りです。

1. 諏訪湖の定期観測 (2023年3月7日から開始)
2. 諏訪湖のリアルタイムモニタリング (2023年3月14日から観測開始)
3. 諏訪湖の底層溶存酸素の観測 (観測データは長野県の施策に活用されます)
4. 諏訪臨湖実験所施設の一般公開 (7月上旬を予定)
5. 諏訪湖流入河川の水質一斉調査 (6月上旬を予定)

宮崎ますみさん

1968年愛知県名古屋市生まれ。1984年クラリオンガールに選ばれ、その後女優として、舞台・映画・TVなど幅広く活躍。1995年結婚を機に渡米。米国では二児の息子を育てながらヨガに傾倒し魂の探求に専念する。

アガステア聖者に Shan Matha という聖なる名前を授かり、「アガステアの葉」を日本で紹介する活動をしている。

著書に『ピュアバランス』(ヒカルランド)、『至福へのとびら』(飛鳥新社)がある。現在は、八ヶ岳・原村を拠点に活動中。



宮崎ますみさん

水中ドローンの仕組み

複数のモーターを搭載してローターを立体的に回転することで、空中ドローンと同様に水中ドローンでも上下左右へと立体的に移動をすることができます。これらのモーターを独立して動かすことで、水中での水平移動や、その場での旋回など、様々な撮影をすることができます。また機体を安定させることができ、ブレの少ない鮮明な映像を撮ることができます。

空中のドローンの場合は、許可が必要な場所が多いですが、水中ドローンの場合は、許可を得る必要が無いので、気軽に水中を探索することができます。

空中ドローンの場合は無線で動かしていますが、水中ドローンの場合は有線で動かすことが多いです。これは水中だとしても電波が届かないためです。



水中ドローン

静岡大学付属浜松中学校生徒の「しなの体験学習」

静岡県浜松市にある静岡大学付属浜松中学校では、昨年の6月に引き続き「しなの体験学習」と銘打って、松本や、諏訪市内の施設を見学しました。自分たちで、地元の環境活動グループへのインタビュー等の計画を立て、テーマに沿った調査・見学・体験活動を行っています。その中の一部のグループが「諏訪湖クラブの諏訪湖の浄化に関する取り組み」について諏訪市（諏訪湖）を訪れてくれました。

日時：令和5年2月28日9時30分～

場所：諏訪市中央公民館会議室

参加：付属浜松中学校男子生徒4人、女子生徒7人
計11人

事前に質問を頂いていたので沖野会長からその回答を、諏訪湖の浄化の取り組みについては会員から説明しました。平成19年（2007年）から諏訪湖クラブの取り組みが続いていることに対する質問が多く出されました。

資料；質問に対する回答書

冊子/散歩しながら「諏訪湖に学ぶ」
諏訪湖クラブニュース34号
諏訪湖クラブのこれまでの取り組み



意見交換会の様子

諏訪湖クラブの設立のきっかけは

Q1；諏訪湖クラブを設立するきっかけとなった出来事がありますか？

A1；諏訪湖クラブの前身でもある「諏訪環境まちづくり懇談会」は諏訪湖の汚染をきっかけに、諏訪湖浄化を中心とした目標として設立、活動してきました。この懇談会は諏訪湖浄化の目途がたったこと、会員の高齢化により活動がし難くなったことなどで解散しましたが、諏訪湖を中心とする地域づくりが終わったわけではありませんでした。そこで、住民と行政の協働による新たな地域づくりを目指す住民団体の設立が必要であるとの結論に達し、さらなる諏訪湖の浄化を中心課題とする地域づくりの団体とし「諏訪湖クラブ」が設立されました。

地域づくりで苦勞しているところは

Q2；諏訪湖をキレイに、又は地域づくりで苦勞していることは？

A2；環境問題を自分たちの生活上の問題であると多くの人に正しく理解してもらうことです。

Q3；諏訪湖をキレイに、又は地域づくりを通して学んだことは？

A3；「きれい」という内容が人によって、時代によっても変わるので、議論がまとまらない。まとめにくいことを理解して、活動を進める必要性を学んだ。

Q4；活動をしていて良かったと思う時や、やりがいを感じる時はどのような時ですか？

A4；多くの人が諏訪湖周辺を散策しているのを見たり、多くの団体が自発的に清掃を行うなど、諏訪湖に関心を抱き、行政との協働活動がいろいろな形で進んでいることを報道などで紹介され、諏訪湖の水質や景観が次第に良くなってきている実情を実感したとき、やってきて良かったと実感します。

抱えている課題やどのようにしていきたいか

Q5 ; 現在の諏訪湖はどのような課題を抱えていると思いますか？

A5 ; 水質浄化については一応の結果が出ていて、この先の目途もついているので、将来へ向けての自然保全を念頭に置いた新たなランドデザインを公民協働で描き、目標に至る道筋、シナリオを作る必要があります。ただし、その運用には柔軟な考え方が必要でしょう。

地域づくりでの公民協働の諏訪方式を思考錯誤しながら実践し、自然を正しく理解し、自然環境を活かした個性のある、そして活気のある地域を作り上げていきたい。

Q6 ; 私たちに気を付けてほしいことは何ですか？

君たちには、自分の目を通して自然を観察し、その成り立ちを理解し、自分の考える力と実行力を養ってほしい。

参加された生徒さん全員から礼状が届きましたのでその一部を紹介します

小針 ひなたさん

この度は貴重なお話を聞かせて下さって本当にありがとうございました。…中略

私たちの住む浜松と諏訪が水（天竜川）でつながっていることに対して、何か運命的なものを感じることができ、胸がとても温かくなりました。また皆さんが熱く諏訪湖のことを語ってくださって、地域の愛や強い誇りを感じ、自分もみなさんのように、ふるさとを心から愛せる素敵なお大人になりたいと感じました。一時間という短い訪問でしたが、たくさんのお話を学ばせていただきました。本当に本当にありがとうございました。

正木 諒弥さん

諏訪湖のこれまでと、今の課題やそれらを解決するための対策、諏訪湖の魅力や私たちがこれからは必要なことについて学ぶことができました。今の諏訪湖の課題はアオコに代わるヒシの繁茂、流入土砂の増加があり、そういった課題に対して冊子を作成したり、河口部のしゅんせつなどの対策を行っていることがわかりました。この課題に対して熱心に向かい合っている姿を見習いたいと思いました。

藤坂 琉生さん

諏訪湖クラブさんの諏訪湖を地域のみんなできれいにし、それを守り続けていこうという熱意が伝わってきました。静岡でも浜名湖の掃除や砂浜のウミガメの卵の保護を行っている話を聞いたのですが諏訪湖クラブさんのように市民全員で行いたいし、一人一人が変わらなければいけないと言っていました。

協力して働く「協働」を大事にしていると聞いて、とてもいい言葉でこれからの学習で活かしていきたいと思いました。自分たちの質問にとても丁寧の答えてくださり疑問が解消し、より深い学びにつながりました。貝がらや本を見せてくれたり、資料等くださったおかげで理解することができました。

静岡大学附属浜松中学校は、諏訪湖から流れ出る天竜川の西側約 8 km 地点にあります。令和 3 年度より附属浜松小学校との小中一貫校としてスタートしました。

一学年の定員は 108 名。このうち約 80 名は静岡大学教育学部附属浜松小学校出身者です。



諏訪湖クラブと私

理事 鴨志田 明子

2007年12月ホテル成田屋での「諏訪湖クラブ設立総会」に私は「女性団体連絡協議会」会長として参加していました。女性団体連絡協議会は、1987年設立、女性の地位・福祉向上を目的としていましたが、ある程度達成でき、会員の高齢化もあって、2010年に幕を引きました。しかし、女性の声を行政に届けたいと、また、行政からの要請もあって同年「女性ネットの会」を新たに設立し、現在は金子田美さんが会長をされております。

諏訪湖クラブ設立から16年の歳月が流れ、会員の入れ替わりはありますが、なんと私も古参会員、毎月第3日曜日は、私にとって居心地の良い大切な場所となっています。店では出会えない方々からの貴重なお話を伺い、毎日湖を眺めているのに、諏訪湖の浄化・環境に無頓着であった自分に気づかされました。熱意ある研究・実験報告を伺うたび、目から鱗、知らないことばかり、たくさんのことを学ばせて頂いています。

学んでは忘れてしまう事が多いのですが、浄化としての淡水真珠養殖事業には、興味をそそられ、真珠誕生を夢みる夢子となりました。2015年には、イケチョウガイの中に小さな真珠が発見されたとの朗報に胸躍らせて、諏訪湖真珠をどう生かそうかと、皆で知恵を出し合い考えた日々が今では懐かしいです。昨年のイケチョウガイ全滅との報告に夢見た真珠は幻と化してしまいましたが、いつか誕生の日が来ることを願っております。

私は仕事上クラブの行事に参加・協力することが出来ず、肩身が狭いですが、諏訪湖クラブの聴講生？としてこれからも仲良くご指導をよろしく願いいたします。

思い出話でタイムスリップ

長野日報 2月20日掲載記事



ブティック 「カモ」



お店を描かれた油絵

自宅前にて

店を始めて半世紀。我が人生の振り返りを記してみるのも良いかなと、出版社の熱意に乗ってしまいました。こんなに大きく紙面に載せていただき、また、反響の大きさにびっくりしています。

学業を終え社会人となったばかりの女性達が、夕方の5時を過ぎれば街にあふれた時代、今その方達も年を重ね、青春時代を懐かしんでくださっています。遠路より訪れてくださる方もいたりして、本の出版により皆さんと再会できたことが大きな喜びです。

大勢の方々との出会いに支えられ、今日があることを今更に、深い感激と感謝の念でいっぱいです。

理事会報告

- 第151回 日時：令和4年(2022)12月18日(日)午後4時30分～
場所：ごんべえ 諏訪市 電話 (58)6796
出席者：沖野 金子 宮原 長崎(政) 井上 高木 八幡 鴨志田 山村 宮坂(清) 宮坂(平) 市川 林 松井 安斎 長崎(功) (16人)
コロナの感染に注意しながら新年会を開催できました。皆様からの近況報告や今年の抱負などを聞かせていただきました。
- 第152回 日時：令和5年(2023)1月15日(日)10:00～
場所：スマートレイク事務所
出席者：沖野 宮原 金子 長崎(政) 井上 高木 八幡 宮坂 入江 (9人)
内容：1) 諏訪湖クラブニュース34号の配布
2) 諏訪湖のしゅんせつについて
・しゅんせつは多額な費用を要するが、費用対効果の判断は難しい
・諏訪湖に与える内部負荷は1/3、外部負荷2/3と流入する河川からの負荷対策が重要
・いろいろな意見が出てきているので整理が必要
・諏訪湖創生ビジョン推進会議の中でしゅんせつに関する専門部会を設立の動きがある
3) 県民参加型予算に提案 経過報告 (井上)
4) その他
- 第153回 日時：令和5年(2023)2月19日(日)10:00～
場所：スマートレイク事務所
出席者：沖野 金子 長崎(政) 高木 八幡 鴨志田 宮坂 田代 (8人)
内容：1) 令和5年度元気づくり支援金の経過報告 (八幡)
① 諏訪湖の水生植物
② ウンチ君の旅
③ 紙芝居「オオワシと鳥きち爺さん」
④ 釜口水門の役割
1/24申請書提出、2/21ヒヤリング(オンライン)
2) 岡谷市横河川河口にある「長野県男女共同参画センター(あいとぴあ)」の一部を改修し、諏訪湖環境研究センター(仮称)を設置(24年4月の開所をめざしている)
3) その他
- 第154回 日時：令和5年(2023)3月19日(日)10:00～
場所：スマートレイク事務所
出席者：沖野 金子 長崎(政) 高木 八幡 鴨志田 山村 宮坂 市川 入江 田辺 石川(セイリング協会) 計(12人)
内容：1) 静岡大学附属浜松中学「しなの体験学習」対応後の報告(11人の来訪があり) 全員から当日の感想を含めてお礼状が届いた。→回覧
2) 第9回諏訪湖創生ビジョン推進会議開催について(令和5年3月23日) しゅんせつについて部会立ち上げ
3) 令和5年総会 令和5年6月4日(日)午後2時30分～ すわっチャオ
4) 紙芝居の作成について報告、冊子作成(参加者に配布)
5) ウンチ君の旅 6月13日中洲小学校で教職員研修会
6) FGF(フジフィルム・グリーン・ファンズ)助成への応募について→資料回覧
7) 石川さん(セイリング協会)よりヨットの課題について説明があった。
航路のしゅんせつ/キール深さ1.5m 余裕見て3m欲しい。
風上に進むにはタック45度で進むので、幅も必要